**民間観光宿泊施設魅力向上支援事業**

**事業計画内訳書**

Ⅰ　補助事業者の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称 |  | | |
| 法人形態  （該当するものに○） | １　株式会社　　２　合名会社　　３　合資会社　　４　その他（　　　　） | | |
| 代表者役職・氏名 |  | | |
| 所在地 | 〒 | | |
| 電話番号 |  | ﾌｧｯｸｽ番号 |  |
| 経営理念  経営ビジョン |  | | |
| 【重要確認事項】  ① 平成31年３月31日までに必要書類を添えて実績報告書を提出できない場合には、補助金の交付を受けられないことを了解しました。  ② 申請者は、暴力団、暴力団員又は暴力団もしくは暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有する者に該当しません。  ③ 申請者は、申請時点において、県税の滞納はありません。  　　以上のとおり相違ありません。  　　平成　　年　月 日　　　　○○○○株式会社　代表取締役　○○　○○　　㊞ | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業担当者役職・氏名 | 電話番号 | メールアドレス |
|  |  |  |

Ⅱ　補助対象施設の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称 |  | | |
| 所在地 | 〒 | | |
| 電話番号 |  | 従業員数 | 人（うちパート等　　人） |
| 客室数 |  | 定員数 |  |
| 延べ宿泊者数H29実績 |  | 左のうち外国人 |  |
| 延べ宿泊者数H31目標 |  | 左のうち外国人 |  |

※ 複数の施設により事業を構成する場合は、本欄を複写してください。

Ⅲ　事業概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| (1) 事業の類型  右欄の該当するものを  ○で囲んでください。  複数選択可。 | (ｱ) 高齢者又は障がい者の利便性及び満足度の向上を図るもの  (ｲ) ペット連れ旅行者の利便性及び満足度の向上を図るもの  (ｳ) 外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図るもの  (ｴ) その他、旅行者の多様なニーズや旅行形態の変化に対応し、新たな顧客の獲得を図るもの | |
| (2) 事業目的と背景  ②は、市場規模、市場ニーズ、顧客の動向、周辺環境の変化等を踏まえて記載してください。 | ① 事業の目的・ねらい  ② 事業実施の背景 | |
| (3) 事業内容  記載欄が不足する場合は、別紙を添付してください。  複数の施設で申請する場合は、施設ごとに区分して記載してください。 | ① 施設及び設備等の改修・整備  ② 付随するソフト事業（実施する場合のみ） | |
| (4) 事業費  全て消費税を抜き、交付申請額は千円未満を切り捨ててください。 | 総事業費〔 円〕　補助対象経費〔 円〕 | |
| 交付申請額〔 ,000円〕※補助対象経費の1／2以内で500万円以内  自己資金〔 円〕　観光庁補助金等〔 円〕 | |
| (5) スケジュール  交付決定通知（６月下旬予定）以降が補助対象となります。 | ① 実施設計等に着手　　　　月 | ④ 支払い等完了　　　　　　月 |
| ② 施工業者と契約　　　　　月 | ⑤ 実績報告　　　　　　　　月 |
| ③ 改修等完了　　　　　　　月 |  |

Ⅳ　事業の効果等

|  |  |
| --- | --- |
| (1) 事業効果  補助対象事業の効果について記載してください。 | ① 事業の効果による売上げ増加等の見通し  ② ①を実現するための販売・営業方針 |
| (2) 併せて行う事業  補助対象事業に併せて行う事業がある場合は、事業規模や実施時期を含めて記載してください。 | ① 併せて行う事業の概要  ② 補助対象事業との相乗効果 |
| (3) 将来展望  補助対象事業の効果を踏まえ、今後どのような営業を展開し、中長期的に何を目指すのか、記載してください。 |  |
| (4) 公益性  補助対象事業が、地域の観光振興にどのように貢献するものか、記載してください。 |  |

〔添付書類〕

① 収支予算書

② 整備前の平面図及び写真並びに整備後のイメージを記載した書面

③ 積算明細書又は見積書

④ 直近２期分の貸借対照表及び損益計算書（個人の場合は、税務署による収受印を確認できる税務申告書類の写し）